

《健康診断受診にあたっての注意事項》

正確な検査を実施するため、また、安全に受診していただくために、注意事項をよくお読みの上受診してください。

食 事 制 限 に つ い て

胃部レントゲン検査・胃部内視鏡検査・腹部エコー検査を受診される方

- 前日の飲食は、消化のよいものを午後9時頃までにお摂りください。
- 受診当日は、健診終了まで絶飲・絶食してください。飲食された場合は検査できないことがあります。(※健診2時間前までに、水や白湯のみ 200ml 以内は可。)

上記の検査は受診しないが、血液検査を受診される方

- 健診当日は、健診受診時間の少なくとも4時間前より禁食となります。(※水や白湯を摂ることは可。)

治 療 薬 の 服 用 に つ い て

- お薬を内服中の方は、事前に人間ドック・健診当日の内服方法を主治医にご相談ください。特に高血圧・心臓病・不整脈・脳血管障害・てんかん・喘息・甲状腺などのお薬は、中止できない場合がありますので、必ず主治医にご相談ください。
- 主治医の指示により飲む必要があるお薬は、起床後早めに(少なくともドック・健診受診の2時間前までに)、少量の水または白湯(200ml 以内)で内服してください。
- 糖尿病のお薬(インスリン含む)の服用は、食事制限により低血糖を起こす可能性がありますので、必ず主治医にご相談ください。
- 健診終了後に内服が必要になる場合がありますので、お薬は必ずご持参ください。
- 血液をサラサラにするお薬を内服中の方で、胃部内視鏡検査・マンモグラフィー検査をご希望される際は、検査前にお薬を中止できるか、事前に主治医にご相談ください。

胃部レントゲン検査・胃部内視鏡検査の注意事項

- 以下の方は、当クリニックで胃部レントゲン検査は原則として受けられません。(主治医またはお近くの消化器科にご相談ください)
 - ◆大腸がん・潰瘍性大腸炎・クローン病・腸閉塞・大腸憩室炎の既往のある方
 - ◆胃の切除など、胃の手術をした方 ◆人工肛門の方
 - ◆慢性腎不全・心不全で水分制限のある方 ◆妊娠またはその可能性のある方
 - ◆バリウム製剤・発泡剤に過敏症(アレルギー)の既往のある方
 - ◆過去にバリウム検査で気分不良や憩室炎を起したり、便が出なくなって苦しんだ経験のある方
- ※バリウム服用後にアレルギー症状が発現することがありますので、発現したらすぐに医療機関に連絡して適切な処置を受けてください。

- 胃部内視鏡検査（胃カメラ）を受診する方へ
 - ◆当クリニックでは鎮静剤やブスコパンを使用しての検査は実施しておりません。ただし、喉や鼻の局所麻酔を使用しますので、麻酔でショックやアレルギー症状を起こしたことがある方は予めお申し出ください。（場合によっては検査できないことがあります。）
 - ◆胃部内視鏡検査の結果、細胞の検査や薬の処方箋が必要になる場合がありますので、必ず健康保険証をお持ちください。（その際は追加料金が発生します。）
- 胃部バリウム検査・胃部内視鏡検査は、当日の健康状態によっては、医師の判断で中止する場合があります。

事前の検体採取方法

尿検査	当日の朝に中間尿を採取してください。
便潜血検査	健診日より1週間以内（できるだけ3日以内）に採取し、冷暗所に保管してください。2回法の場合は2日に分けて2回採取してください。後日の受付はできません。
子宮がん検査 （自己採取法）	健診日より10日以内に採取し、冷暗所に保管してください。 ※子宮・卵巣の手術を受けられた方は医師採取をお勧めいたします。

眼底・眼圧検査の注意事項

- 検査に支障があるためコンタクトを外して頂きますので、保存容器・保存溶液をご持参ください。

《女性の皆様へ》

① ⑤の方は事前にお申し出ください。（下記の表に×のある検査は受けられません。）

	胸部・胃部レントゲン ・胃部内視鏡検査	子宮がん 検査	乳房触診	乳腺エコー	マンモグラフィ
① 生理中	○	×	○	○	○
② 妊娠中	×	×	×	○	×
③ 妊娠の可能性	×	○	○	○	×
④ 授乳中	○ ※下剤変更あり	○	×	○	×
⑤ 豊胸術後	○	○	×	○	×

- 生理中の尿検査、大腸がん検査（便検査）について
生理中に採取した尿・便では正しい検査及び判定ができません。受診日を変更するか、便検査の場合は、事前（健診日より1週間以内）に採取しておくことをおすすめします。